

市の財政状況をお知らせします

平成22年度帯広市の決算

平成22年度の一般会計と特別会計の決算と、帯広市の財政状況についてお知らせします。決算については9月22日から開会の定例市議会で審議されています。

△ 詳細 財政課(市庁舎5階、電話65・4106)

一般会計の収支

平成22年度の決算額は、歳入が832億1860万円、歳出が821億5414万円。翌年度繰越事業財源は1億7109万円、実質収支は8億9337万円です。この差引額には、平成22年度中に事業が完了しなかつたため平成23年度に繰り越した事業の財源1億7109万円も含まれており、これを除いた実質的な黒字額は8億9337万円でした。(表1)

一般会計の歳入の状況

平成21年度と比較すると、平成20年の金融危機からの脱却などにより、法人市民税などの市税が約2億2千万円、地方交付税が約7億6千万元増加しました。

一方、平成21年度に実施された定額給付金支給などの事業終了により国庫支出金が約9億4千万円減少しましたが、平成22年度収入全体では、約6億7千万円の増加となりました。(図1)

一般会計の歳出の状況

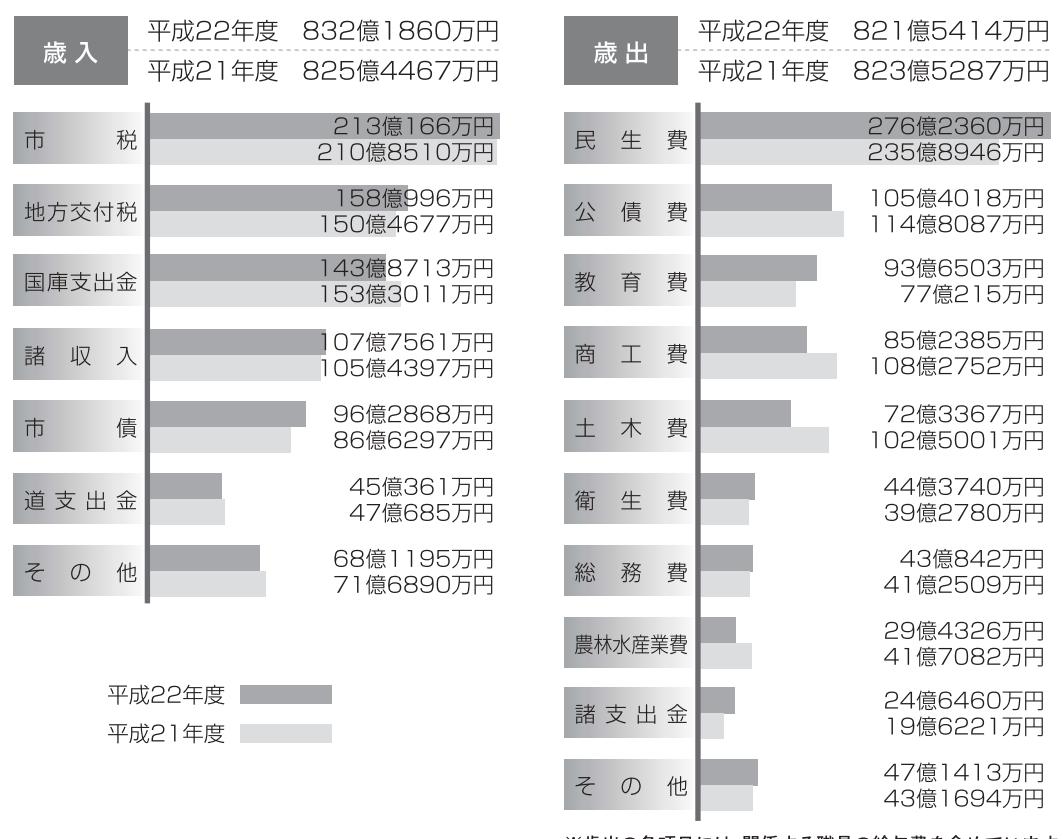
平成21年度と比較し、子ども手当の支給や、生活保護費の増加などにより民生費が約40億3千万円、

豊成小学校移転改築などの学校建

表1 一般会計・特別会計の決算

会計区分	歳入	歳出	翌年度繰越事業財源	実質収支
一般会計	832億1860万円	821億5414万円	1億7109万円	8億9337万円
国民健康保険会計	171億6994万円	173億8895万円		-2億1901万円
老人保健会計	1726万円	1726万円		
後期高齢者医療会計	17億2674万円	16億6190万円		6484万円
介護保険会計	99億4911万円	98億2741万円		1億2170万円
中島靈園事業会計	6624万円	6624万円		
簡易水道事業会計	5392万円	5392万円		
農村下水道事業会計	1億205万円	1億205万円		
ばんえい競馬会計	108億1276万円	108億1218万円		58万円
駐車場事業会計	1億8251万円	1億8251万円		
空港事業会計	6億8934万円	6億8934万円		

図1 一般会計の歳入・歳出



特別会計の収支

国民健康保険会計や介護保険会計のほか、市の会計には、一般会計のほか、

企業会計の平成22年度決算について、4～5ページでお知らせしています。このほかに、独立採算で経理を行っている、水道事業会計と下水道事業会計の2つの企業会計があります。

特別会計の決算額は表1のとおりです。

このほかに、特別会計は、保険料や使用料などの利用者が負担する収入などを主な財源としています。その収入と支出の関係を明確にするため、一般会計と区別して経理を行っています。

など10の特別会計があります。

特別会計は、保険料や使用料などの利用者が負担する収入などを主な財源としています。その収入と支出の関係を明確にするため、一般会計と区別して経理を行っています。

新たに実施した主な施策

第六期帯広市総合計画の体系に基づいて紹介します。



- ◆ 豊成児童保育センター改築に向けた実施設計
- ◆ 認知症グループホームのスプリングクラー設置を支援(8施設)
- ◆ 低所得者の障害福祉サービスの
- ◆ 公共施設の省エネルギー化改修
- ◆ ユート56件
- ◆ 帯広市環境基金を創設
- ◆ 二酸化炭素排出量削減に向けた実施設計
- ◆ 中央駐車場の改修
- ◆ 開催
- ◆ ベーカリーキャンプ2010
- ◆ 觀光交流拠点施設・とかむらの建設を支援
- ◆ 中国人観光客誘致のプロモーション活動を実施
- ◆ 自然と共に共生するまち



- ◆ 地域防災無線のデジタル化を実施
- ◆ 口蹄疫などの家畜伝染病対策として消毒資材の備蓄や配布を実施
- ◆ フードバレーとかち推進プラン(素案)の策定
- ◆ フードバレーとかち講演会を実施(7回)
- ◆ 豊成保育所改築に向けた実施設計
- ◆ 災害時要援護者の避難支援計画を作成
- ◆ 防犯灯の省エネルギー化の支援(新設100灯、更新500灯)
- ◆ 健康でやすらぐまち
- ◆ 豊成保育所改築に向けた実施設計
- ◆ ベーカリーキャンプ2010
- ◆ 觀光交流拠点施設・とかむらの建設を支援
- ◆ 中国人観光客誘致のプロモーション活動を実施
- ◆ 小室富士宮市長(当時)と米沢市長の講演会での対談
- ◆ 自然と共に共生するまち

表2 健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字比率

平成22年度	—
平成21年度	—
「—」は黒字決算を示します	
早期健全化基準	11.46
財政再生基準	20.00

普通会計の実質的な赤字額が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。

家計簿に例えると、年間の赤字額の合計が収入の合計に占める割合になります。

実質公債費比率

平成22年度	11.7
平成21年度	12.1
早期健全化基準	25.0
財政再生基準	35.0

一般会計などが負担する長期の借入金の返済や、それに準じる支出が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。家計簿に例えると、住宅ローンなどの返済額の合計が年収に占める割合になります。過去3カ年平均を表しています。

連結実質赤字比率

平成22年度	—
平成21年度	—
「—」は黒字決算を示します	
早期健全化基準	16.46
財政再生基準	35.00

普通会計のほか、特別会計や企業会計も含めて計算した実質赤字比率です。

家計簿に例えると、自分の世帯のほか、親や子どもの世帯を合わせた赤字額の合計が、収入の合計に占める割合になります。

将来負担比率

平成22年度	110.2
平成21年度	117.9
早期健全化基準	350.0

一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。家計簿に例えると、住宅ローンなどの借入金の残高が、現在の年収の何%になるかを示す割合になります。

市では、普通会計による財政状況の公表だけでなく、自治体全体の財政状況を把握し明らかにするため、財政健全化法による4つの健全化判断比率の指標を公表しています。(表2)

市の平成22年度の財政状況は、

いずれも早期健全化基準^{※2}を下回っています。これからも健全な財政運営を心掛けていきます。

※1 普通会計

全国の自治体を比較するための会計の一定の基準です。

※2 早期健全化基準

4つの健全化判断比率のうち一つでも基準値を上回ると、財政健全化計画を定め、財政の健全化に取り組まなければなりません。財政破たんとならないよう設けら

れた危険水準を表したものと言えます。

平成21年度の財務諸表の公表

企業会計の考え方に基づき、発生主義、複式簿記を導入した新たな地方公会計制度により、①貸借対照表②行政コスト計算書③純資産変動計算書④資金收支計算書の

4つの財務諸表を作成しました。これにより、公正な評価による

事業会計と空港事業会計を加えたものです。

帯広市の財政状況

帯広市では一般会計に中島靈園事業会計と空港事業会計を加えたものです。

4つの財務諸表を作成しました。これにより、公正な評価による資産や負債の蓄積状況、減価償却費など、実際に現金の支出を伴わない隠れたコストも把握することができます。

平成21年度決算に基づく財務諸表については、市ホームページなどで公表します。

4つの財務諸表のうち、バランスシートと呼ばれる貸借対照表を見ると、市が所有している施設などの資産価値や、これから返済しなければならない地方債などの負債がどのくらいあるのかを一目で対比することができます。(表3)

表4 貸借対照表の資産などを市民1人当たりに換算(人口:16万7395人)

	市全体	市民1人当たり
資産	3803億5616万円	227万円
負債	1114億3163万円	66万円
純資産	2689億2453万円	161万円

4つの財務諸表を作成しました。これにより、公正な評価による資産や負債の蓄積状況、減価償却費など、実際に現金の支出を伴わない隠れたコストも把握することができます。

4つの財務諸表を作成しました。これにより、公正な評価による資産や負債の蓄積状況、減価償却費など、実際に現金の支出を伴わない隠れたコストも把握することができます。

4つの財務諸表を作成しました。これにより、公正な評価による

表3 平成21年度帯広市普通会計貸借対照表(バランスシート)

資産の部(これまで積み上げてきた資産)		負債の部(将来世代が負担する金額)			
(1) 資金	1億9180万円	1 流動負債	(1) 賞与引当金	5億7533万円	
(2) 債権 未収金、貸付金など	31億6154万円		(2) 地方債(短期)など 翌年度償還予定地方債など	87億4757万円	
(3) 有価証券	2億8155万円		(1) 地方債	871億3626万円	
(4) 投資など 出資金、基金・積立金など	160億3372万円		(2) 借入金	5億8971万円	
		2 非流動負債	(3) 引当金など 退職手当引当金など	143億8276万円	
(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育施設、市営住宅など	1409億2388万円		負債合計	1114億3163万円	
(2) インフラ資産 道路、公園など	2197億6367万円		純資産の部(今までの世代が負担した金額)	純資産合計	2689億2453万円
資産合計	3803億5616万円	負債・純資産合計	3803億5616万円		

◆動物園正門前広場の改修連携した事業を実施

◆動物園において帯広畜産大学と

◆図書館、百年記念館、動物園、児童会館が連携し、展示・イベン

トなどを実施

◆新たな学校給食調理場基本構想を策定

◆実施設計計(16校)

◆小中学校校舎の耐震補強実施設

◆旧第六中学校校舎利活用に向けた実施設計

◆翔陽中学校開校に向けた校舎増築・耐震補強、体育館改修

◆启西小学校、第一中学校の体育馆を改築

◆栄小学校体育館改築に向けた実

施設計

◆豊成小学校移転改築に向けた新校舎建設

◆豊成小学校移転改築に向けた新校舎増築

◆耐震補強、体育館改修

◆新設

◆新設